研究キーワード
耐震性能，伝統技能，伝統的構法，木造建築，防災

中治 弘行

教授

NAKAJI, Hiroyuki

所属…環境学部 環境学科
大学院 環境経営研究科 環境学専攻

URL http://d4407.kankyo-u.ac.jp/　E-Mail nakaji@kankyo-u.ac.jp

Profile

■主な担当科目　環境物理学，木質構造計画，自然素材と環境，物理学実験

■研究者略歴

1994（平成 6）年 3月	京都大学工学部建築学科卒業
1996（平成 8）年 3月	京都大学大学院工学研究科建築学専攻修士課程修了
1999（平成11）年 3月	京都大学大学院工学研究科生活空間学専攻博士後期課程単位認定退学
1999（平成11）年 4月	豊橋技術科学大学工学部建設工学系助手（～2005年3月）
1999（平成11）年 7月	京都大学博士（工学）
2005（平成17）年 4月	高松工業高等専門学校建設環境工学科講師（～2006年9月）
2006（平成18）年10月	鳥取環境大学環境情報学部環境デザイン学科助教授
2007（平成19）年 4月	鳥取環境大学環境情報学部環境デザイン学科・大学院環境情報学研究科環境情報学専攻准教授
2012（平成24）年 4月	鳥取環境大学環境学部環境学科准教授
2015（平成27）年 4月	公立鳥取環境大学環境学部環境学科准教授，大学院環境情報学研究科環境情報学専攻准教授
2016（平成28）年 4月	公立鳥取環境大学環境学部環境学科教授，大学院環境経営研究科環境学専攻教授

Research

■取得学位　京都大学博士（工学）

■専門分野　木造住宅の耐震性能評価

■現在の研究テーマ
・土塗り壁の耐震性能に関する研究
・伝統的構法木造住宅の耐震性能向上に関する研究
・木造建物と地震災害・防災

■所属学会　日本建築学会

■資格　危険物取扱乙4類，床上操作式クレーン技能講習修了証，玉掛け技能講習修了証

Data

■研究等活動

【学位論文】
・「木造建物の耐震性能評価に関する研究」(登録番号　課程工博第1860号　京都大学)
【著書】
・伝統的構法のための木造耐震設計法: 石場建てを含む木造建築物の耐震設計・耐震補強マニュアル，伝統的構法木造建築物設計マニュアル編集委員会，2019，学芸出版社
・高山市伝統構法木造建築物耐震マニュアル，高山市伝統構法木造建築物耐震マニュアル作成検討委員会，2014.
・「東三河伝統民家耐震調査実験報告書」(共著，2005年3月)
・「1995年兵庫県南部地震－木造建物の被害－」(共著，1995年9月)
【論文】
・CLT材による木造床の面内せん断加力実験．共著(筆頭)．日本建築学会大会学術講演梗概集，2020.
・土塗り大壁真壁併用壁の復元力特性に関する研究．共著．日本建築学会中国支部研究報告集第43巻，2020.
・束で分割された土塗り垂れ壁付大断面木造軸組の耐震性能評価実験．共著(筆頭)．歴史都市防災論文集 Vol.12，pp.91-98，2019.
・土塗り壁の耐力を用いた土塗り小壁の骨格曲線の再評価．共著．歴史都市防災論文集 Vol.12，pp.209 - 214，2019.
・土塗り小壁付大断面木造軸組の耐震性能評価実験．共著(筆頭)．日本建築学会中国支部研究報告集第42巻，2019.
・高さの異なる土塗り小壁付木造軸組の実大実験．共著．日本建築学会中国支部研究報告集第42巻，2019.
・垂れ壁と腰壁で分割された無開口土塗り壁の復元力特性．共著(筆頭)．歴史都市防災論文集 Vol.12，pp.23-30，2018.
・土塗り壁の耐力を用いた土塗り小壁の骨格曲線評価．共著．歴史都市防災論文集 Vol.12，pp.15-22，2018.
・伝統的な土塗り壁の復元力特性に関する実験的研究．共著．日本建築学会中国支部研究報告集第41巻．2018.
・土塗り壁の復元力特性に関する実大実験と理論的検討 その1全面壁と垂れ壁腰壁の実大実験．共著(筆頭)．日本建築学会大会学術講演梗概集，2018
・土塗り壁の復元力特性に関する実大実験と理論的検討 その2 設計用復元力との比較．共著．日本建築学会大会学術講演梗概集，2018
・実大実験に基づく土塗り小壁付木造軸組の復元力特性(共著)．歴史都市防災論文集Vol.11，pp.103-110，2017.
・伝統構法木造軸組における土塗り小壁の復元力評価法(共著)．歴史都市防災論文集Vol.11，pp.95-102，2017.
・Influence of Penetrating Tie Beams Visible from the Front of Wall on Restoring Force Characteristics of Mud-Walls(共著)，14th World Conference on Timber Engineering，2016年8月
・「顕しの貫がある土壁の復元力特性」(共著)，第9回歴史都市防災シンポジウム，2015年7月
・「EVALUATION OF RESTORING FORCE CHARACTERISTICS OF MUD-WALLS CONSIDERING EFFECT OF WALL-HEIGHT FOR SEISMIC STRUCTURAL DESIGN」(共著)，13th World Conference on Timber Engineering，2014年8月
・「SEISMIC PERFORMANCE OF MUD-WALLS WITH SILL BASED ON FULL-SCALE CYCLIC LOADING TESTS」(共著)，12th World Conference on Timber Engineering 2012．2012年7月
・「異なる強度を持つ壁土を用いた土壁耐力の推定」(共著)，日本建築学会構造系論文集第76巻第660号，pp.347-352，2011年2月
・「鳥取県の工法による土塗り壁を有する木造軸組架構の耐力特性評価」(共著)，第13回日本地震工学シンポジウム論文集，2010年11月
・「SEISMIC CAPACITY EVALUATION OF MUD-PLASTERED WALLS CONSIDERING STRENGTH OF MUD」(共 著)，WCTE 2010 - 11th World Conference on Timber Engineering，(2010)
・「壁土材料試験体の定温乾燥機による乾燥」(共著)，日本建築学会大会梗概集，A-1 分冊，pp.459-460，2009 年
・「鳥取県中部地方の工法による土塗り壁の実大せん断加力実験」(共著)，日本建築学会大会梗概集，C-1 分冊，pp.257-258，2009年
・「Seismic Performance Veri cation of Traditional Wooden House Based on Cyclic Loading Tests and Analytical Methods」(共著)，WCTE 2008 - 10th World Conference on Timber Engineering，(2008)
・「東三河伝統構法民家の耐震性能評価のための静的繰り返し加力実験」(共著)，日本建築学会構造系論文集，P133 ～ P140，2007年2月
・「The Scale Effects on the Reinforced Concrete Columns with High Strength Materials」(共著)，Proceedings of The US-Japan Joint Seminar on Performance-Based Seismic Design，2001，P297 ～ P308，2001年8月
・「木造住宅土塗り壁の実大実験による耐震性能の再検討」(共著)，日本建築学会構造系論文集　No. 515，P115 ～ P122，1999年1月

■社会貢献活動

・日本建築学会近畿支部木造部会幹事(2016年4月～ 2019年3月)
・日本建築学会近畿支部木造部会主査(2012年4月～ 2016年3月)
・鳥取県湯梨浜町松崎地区町営住宅建替事業民間事業者選定委員会委員(2021年3月～)
・旧加悦町役場庁舎耐震改修検討委員会(2018年4月～ 2019年3月)
・高山市伝統構法木造建築物耐震マニュアル作成検討委員会委員(2013年4月～ 2014年3月)
・「伝統的構法の設計法作成及び性能検証実験」検討委員会委員(2010年4月～ 2013年3月)
・重要文化財松江城天守保存活用計画策定委員会委員(2012年3月22日～ 2014年3月21日)
・鳥取環境大学公開講座(2013年度，2011年度ほか)